

平成 20 年度

第 1 回 芦屋の里浜づくり実行委員会

『施設整備計画（技術検討会資料）』

平成 21 年 3 月 8 日

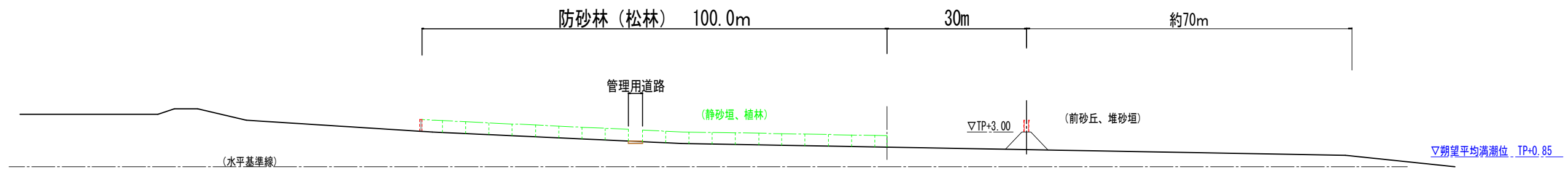
目 次

造成計画案（平面図）	1
造成計画案（断面図 1）	2
造成計画案（断面図 2）	3
進入路等平面図	4

造成計画案 (断面図 1)

※この図面は1/2縮小図面です。

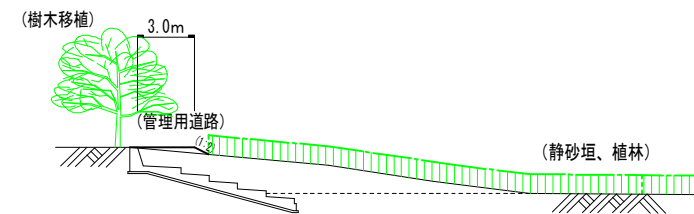
横断図 (A-A) 縮尺 $H=1:500$
 $V=1:200$



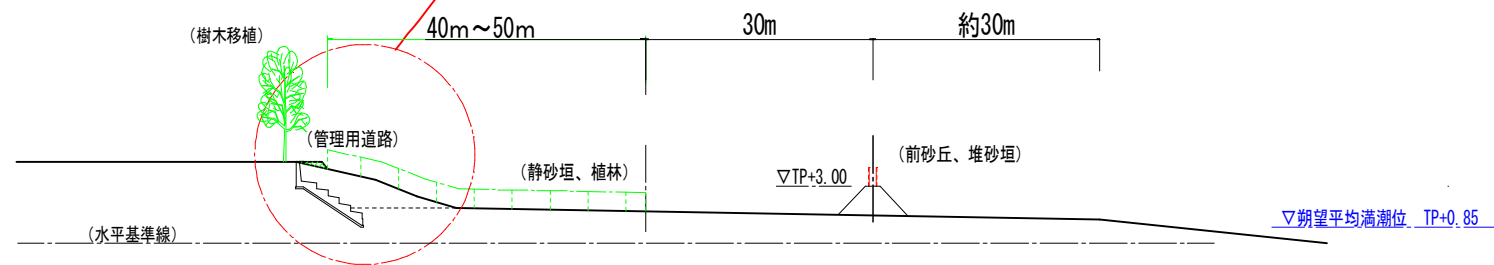
造成計画案 (断面図2)

※この図面は1/2縮小図面です。

管理用道路部詳細図 I=1:200



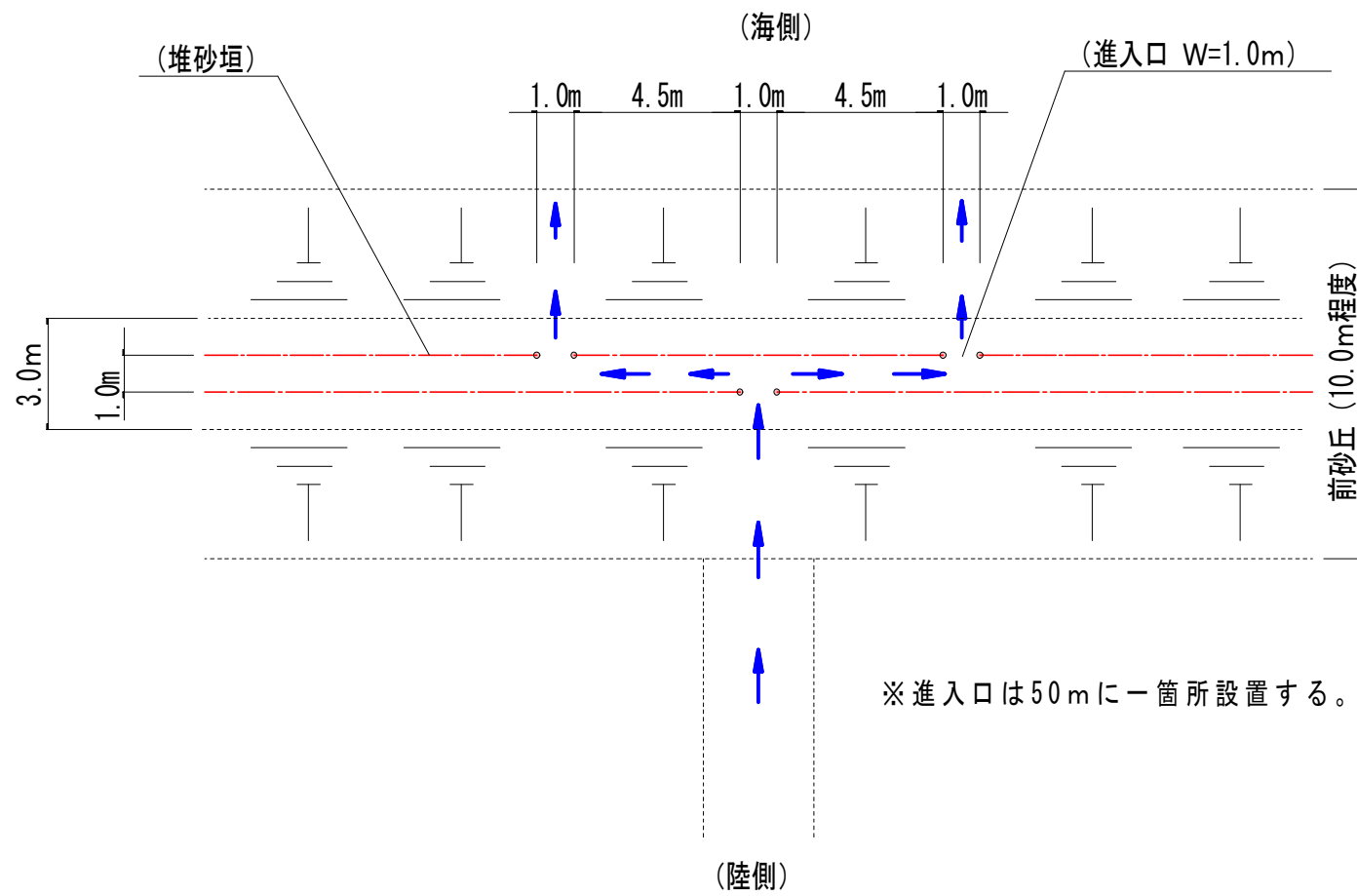
横断面 (B - B) 縮尺 H=1:500 V=1:200



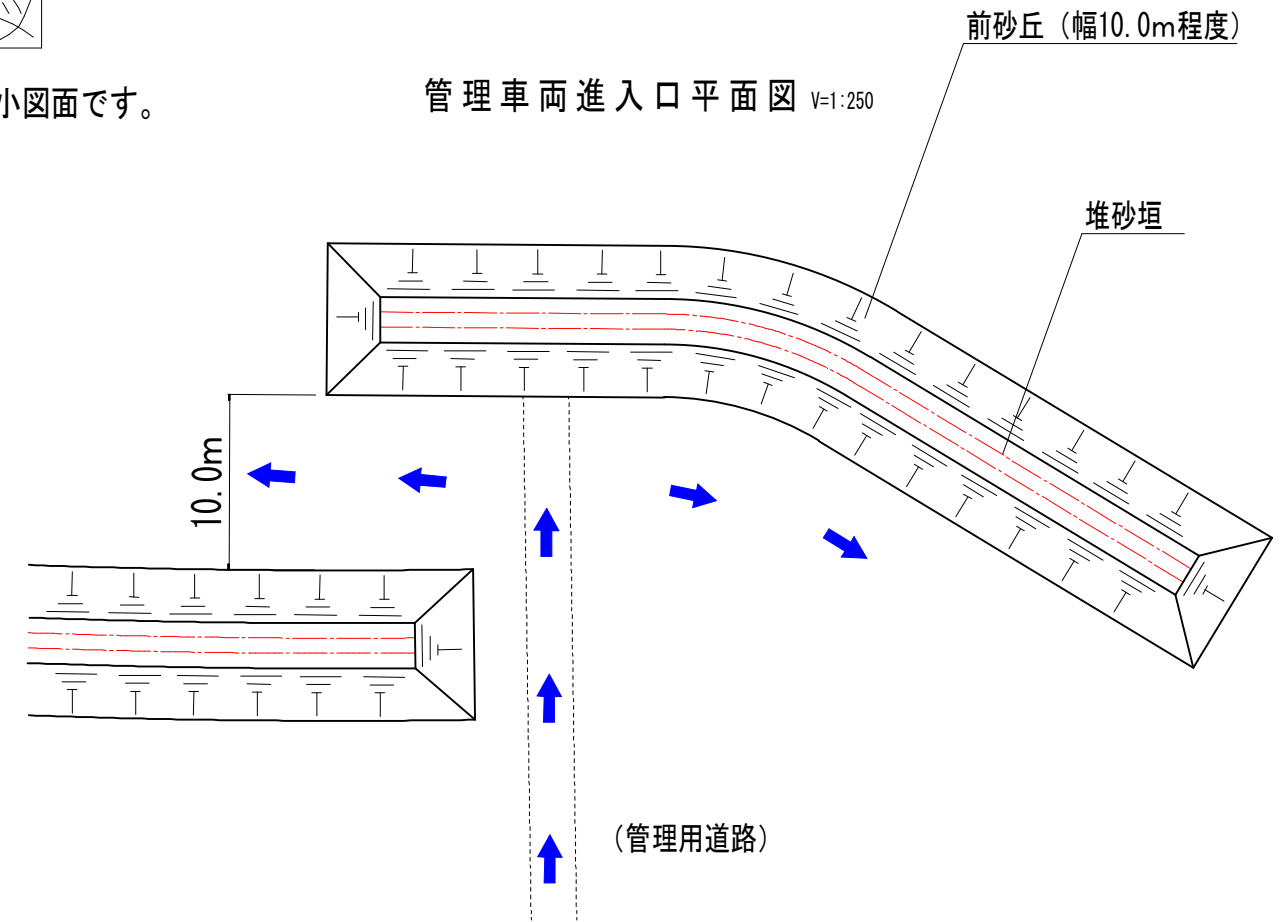
進入路等平面図

※この図面は1/2縮小図面です。

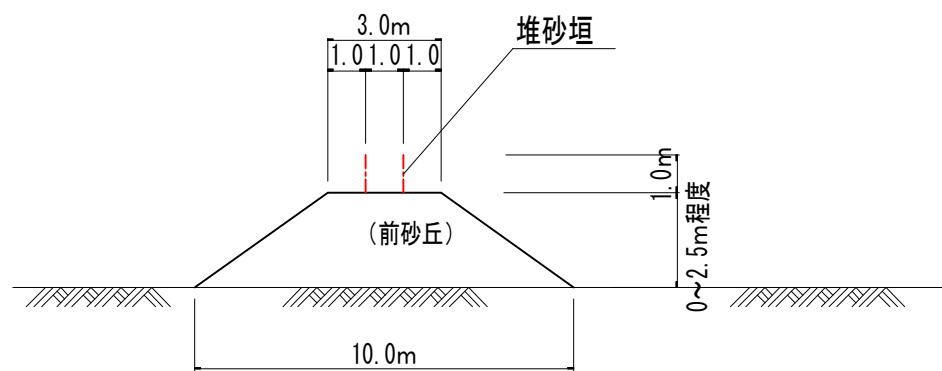
堆砂垣進入箇所平面図 V=1:100



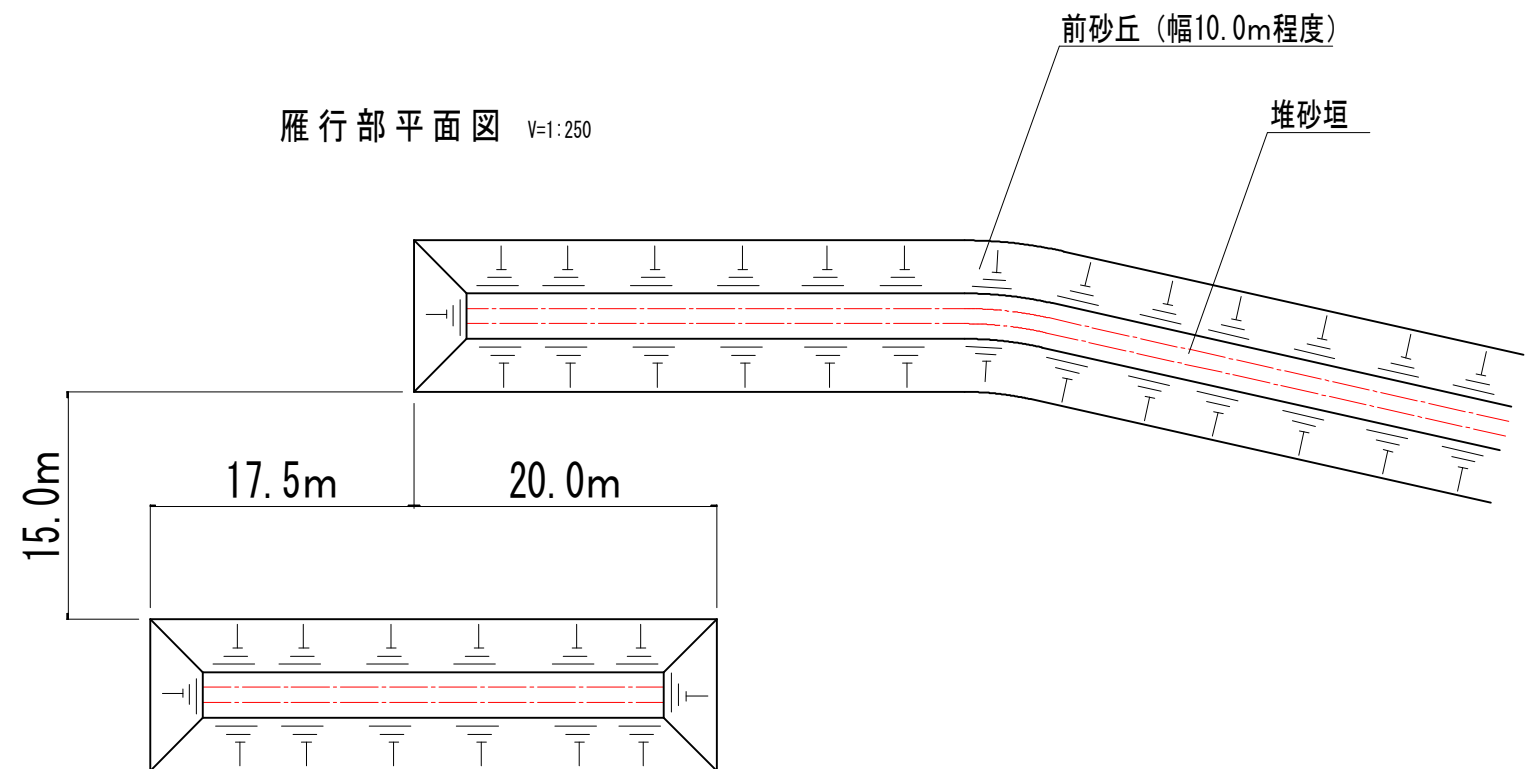
管理車両進入口平面図 V=1:250



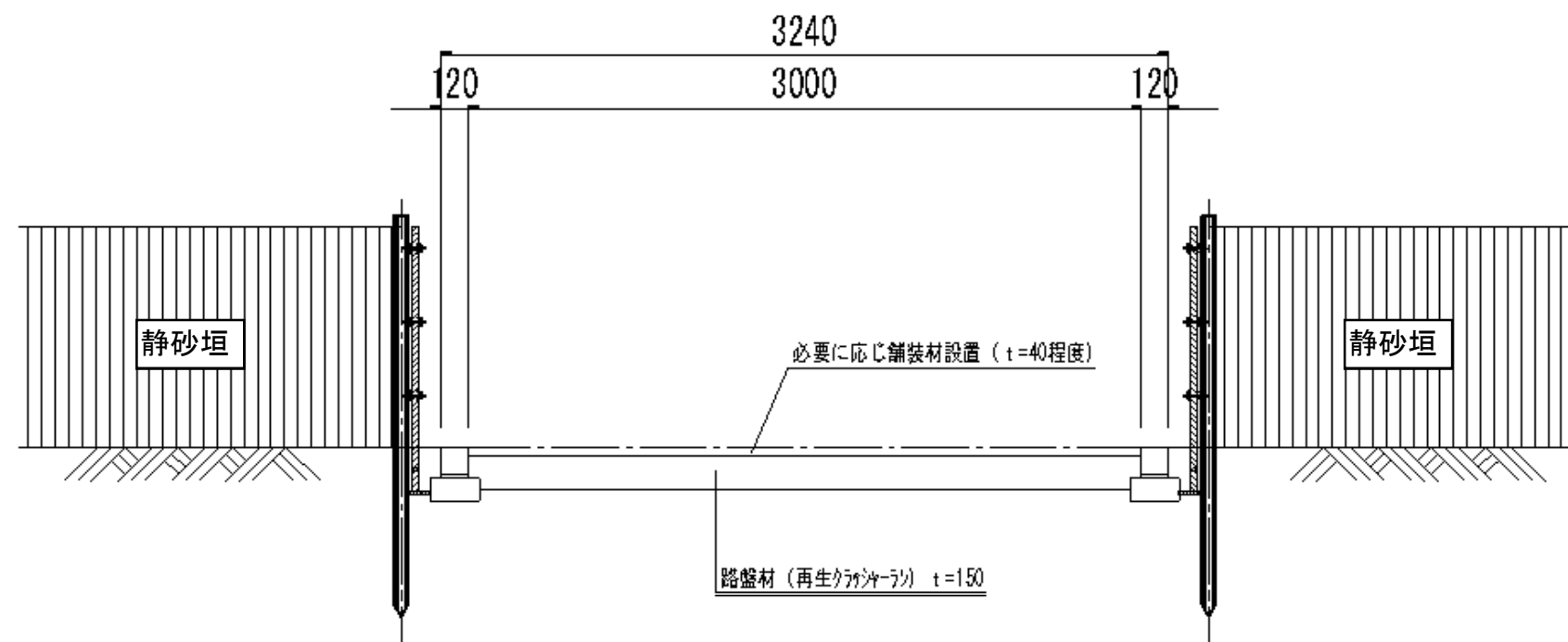
前砂丘断面図 V=1:100



雁行部平面図 V=1:250



【管理用道路(路盤材)詳細】



アスファルト舗装要綱(P176)

1) 一般的な舗装構成

区分Ⅰの場合は、粒状材料を使った厚さ10cmの路盤を設け、その上に加熱アスファルト混合物による厚さ3～4cmの表層を設ける。区分Ⅱの場合は、粒状材料を使った厚さ15cmの路盤を設け、その上に加熱アスファルト混合物による厚さ3～4cmの表層を設ける。一般的な舗装構成を図-7.4.1に示す。

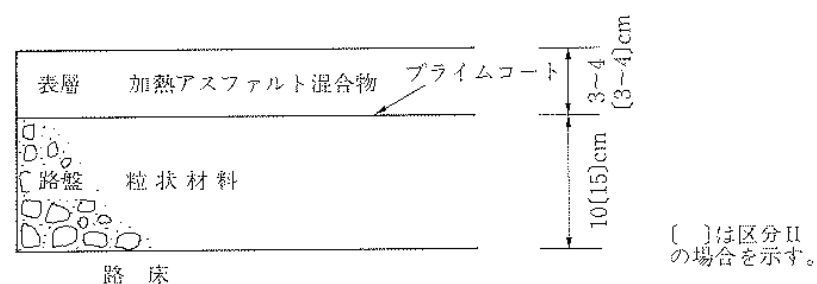


図-7.4.1 加熱アスファルト混合物による舗装構成

- (1) 区分Ⅰ: 歩行者、自転車の交通に供する歩道、自転車道
 (2) 区分Ⅱ: 歩行者や自転車以外に、最大積載量4t以下の管理用車両や限定された一般車両の通行する歩行者系道路

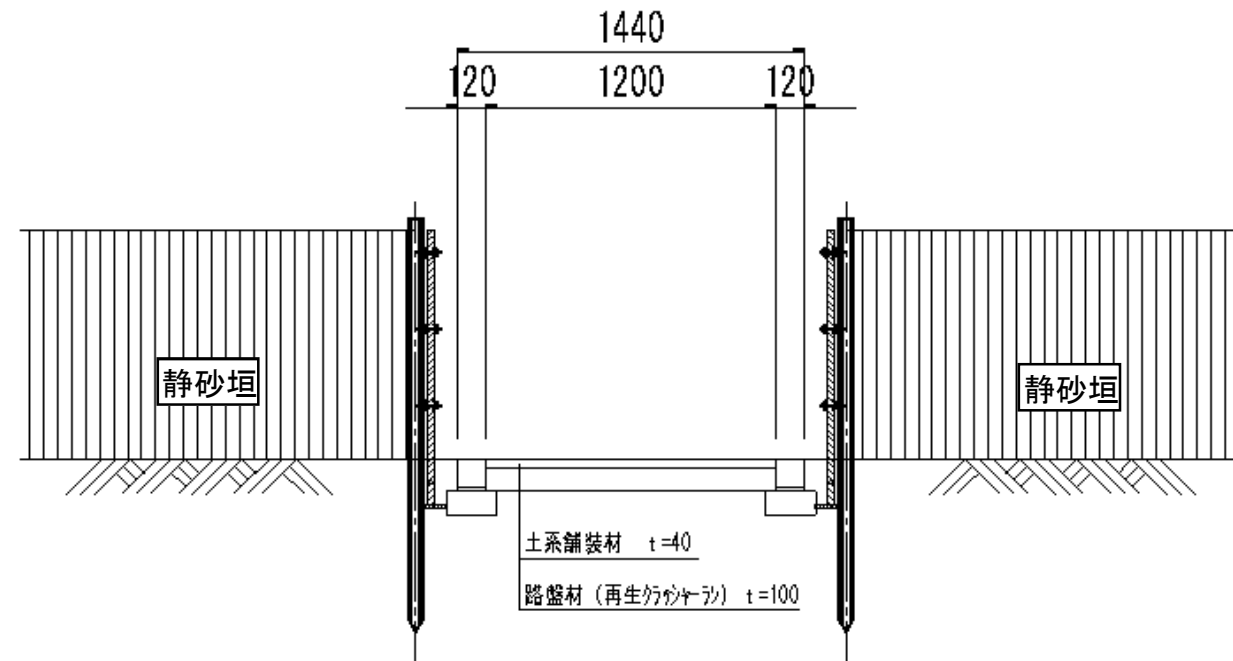
※将来舗装することを考慮し、路盤材まで施工する。

※利用状況に応じて舗装材をオーバーレイできるようにし、現状では砕石(路盤)で敷き固める。

※舗装構成については、アスファルト舗装要綱(4t以下のトラック、緊急車両等)に準ずる。

(将来、舗装材設置に対応可能な構成とする。)

【散策路(土舗装)詳細】



【施工手順】



土、固化材 混合



水分調整



混合材料運搬



散水



転圧



敷き均し

アスファルト舗装要綱(P176)

1) 一般的な舗装構成

区分Ⅰの場合は、粒状材料を使った厚さ10cmの路盤を設け、その上に加熱アスファルト混合物による厚さ3～4cmの表層を設ける。区分Ⅱの場合は、粒状材料を使った厚さ15cmの路盤を設け、その上に加熱アスファルト混合物による厚さ3～4cmの表層を設ける。一般的な舗装構成を図-7.4.1に示す。

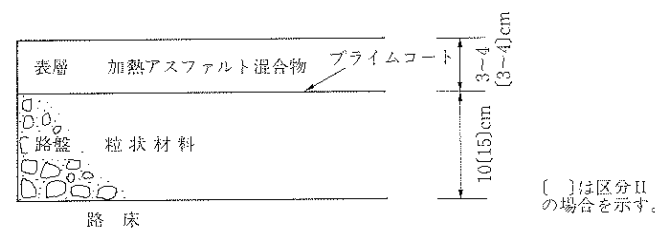


図-7.4.1 加熱アスファルト混合物による舗装構成

- (1) 区分Ⅰ：歩行者、自転車の交通に供する歩道、自転車道
- (2) 区分Ⅱ：歩行者や自転車以外に、最大積載量4t以下の管理用車両や限定された一般車両の通行する歩行者系道路

港湾環境整備施設技術マニュアル(P8)

表-1.2 車椅子の通行に必要なスペース

内容	幅員	要点
車いす1台通行最低幅	90cm	車椅子の幅員に両腕でハンドリムを操作するために最低両サイドに10cm以上のクリアランスが必要である。したがって90cmは最低必要である。
車いす1台通行適正幅	110cm	水平面では、1台通行適正幅員として110cmが適正。 ただし通路が長くなったり、上肢に障害があると蛇行するため幅員はさらに必要である。 スロープでは勾配が急になるほど蛇行するためさらに必要である。
車いす2台とのすれ違い	120 135cm	車いす2台のすれ違いは最低幅120cm すれ違いの人が正面を向いたままのすれ違い最低幅135cm
車いす2台のすれ違い	180cm	車いす2台のすれ違い適正幅員は180cm

「多摩ニュータウンハンディキャプト対策報告」：P54



熊本県南関町大字関町(南関町役場)

【木製デッキ詳細】



福岡県宗像市鐘崎海岸(福岡県宗像土木事務所)



茨城県ため池周辺整備



金田町展望台(福岡県金田町役場)